

みんなの広場 表紙シリーズ「はぐくむ喜び」では、町を支える農業の魅力をご紹介します。



菊農家
平山文修さん
(菱喰内)



平山文修さんが菊の栽培を始めたのは26年前のこと。現在は妻の真美さんとともに26aあるハウスで7月から12月までの期間、菊を栽培し、東京の大田花き市場や町内の直売所に出荷しています。

平山さんが栽培している種類の菊は縁起物としてお祝いの席でも需要があり、10cm以上に大きく成長した一輪仕立ての菊はお正月飾りとしても人気があるとのこと。伺った12月20日は、お正月に向けた出荷の準備でも忙しい様子でした。繁忙期である年末、お盆やお彼岸は深夜まで作業することもあるそうです。

「買ってくれる人が喜んでくれる花を作りたいですね」と優しい笑顔で、可憐な花を一本一本丁寧に収穫していました。

短歌

遊行柳投句箱

俳句

那須文芸

雪の降る真白き那須の山々は
貴婦人のごと凜として見ゆ
新年を迎え新たに誓いする
気持ち引き締め 歳迎えたり

木枯を楽しむ遊行柳かな
鏡山のぼるひとつの冬あざみ

カレンジャー一枚残し霜便り
霜踏んで黒衣の急ぐ法の庭
大霜の大地踏みしめ畑に入る
カラスらの寄りて騒がし残り柿
眠ってる遊行柳の芽のしづか
売られゆく牛振り返へり枯野径
鋸を挽く薪の白いや山眠る
酒蔵の湯気の向こうに山眠る
山眠る牛舎の牛は眠らざる
遭難の御霊を抱き山眠る
八人の魂魄永久に山眠る
着ぶくれて駆け込みドアにはさまれる
着ぶかれて庭の雀に餌を撒く
懐にあかね雲抱き山眠る
着ぶかれて親に似てきし背の丸み
昔一つ今鈴なりの木守り柿
静沼かえらぬ鴨はいずこかな

有坂 進
中島 君江

大沢 綾子
大田 土男

五月女加代子
大場 芦山
須藤さよ子
深澤 千郷
深澤 為寿
松本 和子
高久 巻江
井上 均
中島 君江
丹野 セツ
中込とし郎
井上 博子
高畑 和子
杉本 美風
池田 裕子
高久 昇一
石田 千秋

**広報「那須」が
パソコン・スマートフォンで読めます**

県内の広報紙などをまとめた電子書籍ポータルサイト「トチギーブックス」に広報「那須」が掲載されています。電子書籍なので、本をめくる感覚で閲覧することができます。(専用アプリのダウンロードは不要です) ぜひご活用ください。

URL: <http://www.tochigi-ebooks.jp>



那須文芸への出句について

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載になりませんのでご注意ください。また、電話番号の記入をお願いします。

- 締切り 1月18日(金)
- 俳句の送付先
〒329-3222 那須町大字寺子丙3-166
田中 義郎 ☎72-5044
- 短歌の送付先
〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13
総務課広報広聴係 ☎72-6901